

- 議長 長 次に、質問順位 6番 10番議員 森脇明美議員。
- 議長 長 森脇議員。
- 森脇議員 通告に基づきまして一般質問を行います。
和木町学校給食センター整備計画の進捗状況について伺います。
想定スケジュールによると令和6年度末には、和木町学校給食センター整備基本計画の策定や建設候補地を比較すると聞いておりますが、計画通り進んでいるのか伺います。
- 議長 長 松井教育委員会事務局長。
- 松井教育委員会事務局長 令和6年度実施の基本計画策定業務についてでございますが、予定どおり2月末に完了したところでございます。建設候補地の比較評価につきましても基本計画の中で実施をしております。
今後は、その結果に基づいて、最適な建設候補地を決定する作業を進め、令和7年度中に、適切な候補地を公表する予定としておりますが、今後の候補地の土地の状況、それから周辺環境の変化、建設にかかる諸条件により、その公表の時期が変更となることが有り得る、ということもご理解いただきたいというふうに思います。
- 議長 長 森脇議員。
- 森脇議員 はい、今計画通り大体進んでいて、時期が変化する事もあるということで理解いたしました。
それでは、整備基本計画の策定は2月末で終了したはずですが、計画の中で建設候補地3カ所の様々な検討がされていると思います。メリットやデメリット、問題点や課題、そして建設費用の概要などが、わかる範囲で幼稚園跡地・緑ヶ丘団地地内・蜂ヶ峯公園内の3カ所での内容を示して頂きたいと思

ます。又、この3カ所から候補地を決める基準があれば、併せてお尋ねいたします。

議長

松井局長。

松井
教育委員会
事務局 長

建設候補地の比較評価については、周辺環境、アクセス、配送時間、用地の安全性、整備費用などそれぞれの項目で比較評価を行い、総合的な評価により、最も適した候補地を第1候補地としたいと考えております。

それでは比較検討を行いました建設候補地の主なメリット、デメリットを申し上げます。

まず最初に、旧和木幼稚園跡地でございます。

メリットといたしましては、町の施設でございますことから、新たに土地を取得することは必要ございません。また、こども園、小学校、中学校に近接しており、配送の効率も良いというふうに考えております。もともと、公共施設があった場所であることから、インフラの整備も比較的容易だというふうに、容易でございます。

デメリットは、現存する施設の解体、撤去、及び住民地に、住宅地に隣接しておりますことから、臭気対策を講じるとしても一定の臭気の発生リスクがあり、住民の理解と協力、こういったものが必要になろうかと思っております。

次に、関ヶ浜緑ヶ丘住宅の解体予定地でございます。

メリットは、既存の住宅を解体した後に活用することとなるため、新たに土地を取得する必要がないということでございます。

デメリットは、現在住宅があるため、解体等に時間と費用を要するというところでございます。

次に、蜂ヶ峯ゴルフガーデン隣接地でございます。

メリットでございますが、市街化区域外であること、近隣に住宅がなく、臭気対策の設備が不要、あるいは軽微なものですむこと。さらに、住民の同意を得る必要がないことでございます。

デメリットは、配送面において課題があることや土地の造成、インフラ整備の方が必要な事でございます。

また、建設費用の概算でございますが、ここ数年の人件費、それから建設資材の高騰を考慮した見積もりとなっておりますことを、前提として申し上げます。今回の計画において示された金額は15億円を超える額が示されております。なお、この数字につきましては、今、申し上げましたとおり、近年の人件費や物価の動向を考慮した見積もりでございますので、今後変動するものである、ということをご理解をいただきたいと思っております。

検討内容の詳細につきましては、本会期中、全員協議会等の場でご説明の機会をいただき、報告をさせていただければ、というふうに思います。

議長 森協議員。

森協議員 はい、今、今回の予算で15億を超えるっていうことで、よろしいんでしょうか。ちょっとよくはつきりちょっと。

議長 10か15億か聞こえなかったそうなので。
はい、松井局長。

松井教育委員会事務局長 今申し上げました15億というのは、給食センターを建設した現時点での物価高騰、それから人件費の高騰、そういった事を加味して15億ぐらいで、建設ができるのではないかと、という試算でございます。

議長 森協議員。

森協議員 はい、他の自治体では、近年の労働不足による人件費や、建設材料の高騰により、建設計画が大幅に遅れているとの報道が、後を絶ちません。

想定スケジュールによると、令和10年度に新給食センター

の供用開始となっておりますが、建設工事に係る設計及び建設工事その他の費用が、当初の計画より膨大になるとも想定されていると思います。考えを伺います。

議長 松井局長。

松井教育委員会事務局長 議員のご指摘のとおり、建設工事費等のインシヤルコストこれは、著しく増大しており、建設計画に影響を及ぼすことは十分に予想をされます。その要因には、様々なものがござい
ます。

例えば、働き方改革や労働力不足、円安などの影響により木材や鉄などの資材の高騰、災害の発生や大阪万博のような大型事業の実施、近隣自治体が抱えている老朽化施設の更新、こういった様々なことがあります。今後の建設にかかる費用の増減を予測することは、今時点では非常に困難、というふう
に考えております。

給食センターの整備は、本町にとりまして非常に大きな事業となりますことから、財源の確保等を計画的に行いながら、人件費、あるいは建設費等の動向や町の財政状況そういった事を総合的に判断いたしまして、慎重に事業を進めていく必要がある
と考えております。

議長 森脇議員。

森脇議員 今、様々な要因で建設工事等のコストが増大して建設計画に影響を及ぼす事は、よく分かりました。

しかし、先程も説明がありましたような給食センターの整備については、和木町において非常に大きな本当事業でもあります。しかし今働いている労働環境におかれた職員の、働いておられる方にも本当に暑い中のご苦労もあるのですが、先程
いわれましたように、財源の確保等を計画的に行いながらやっ
ぱり進めていっていただきたいと思います。

次に和木町のP F A Sの状況についてお尋ねします。

状況を伺う前にPFASは、有機フッ素化合物のうち、人工的に作られたフッ素が多い化合物で、PFASを使った製品は、水や油をはじき、分解しにくいという性質がある為、1940年頃から防水スプレーやレインコート等、様々な生活用品に幅広く活用されてきました。

2022年の環境省の発表では、国内111地点の河川、地下水で断定目標値（1リットル中50ナノグラム以下）を超える数値が、検出されています。PFASは分解しにくい性質がある為、永遠の化学物質と呼ばれ、自然環境内に長く残留するとしてきました。残留したPFASが土壌に入っていくと、地下水に浸透し、水道水まで汚染を広げていくともいわれています。

そこでお尋ねしますが、広島県や岩国市では問題になっており町民の方からも、和木町はどうなっているのでしょうか。という質問があり、河川環境や地下水、海域についての現状を伺います。

議 長 上村住民サービス課長。

上 村 住 民
サ ー ビ ス
課 長 それではお答えいたします。環境省が全国の環境基準点の中から選定して行った存在状況把握調査や、公共用水域水質調査には、和木町は含まれておらず、町内で河川や海域、地下水におけるPFAS（有機フッ素化合物）の調査が行われたことはございません。

しかしながら、来年度、山口県が県内約60地点を対象に、PFASの中で有害性があるとされるPFOSとPFOAの調査を実施することを検討しております。現段階で、和木町内が調査対象地点として選定されるかは定かではありませんが、調査が行われた場合には、県と連携し分析結果に応じた対応をとってまいりたいと思っております。

また、PFASについては、健康への影響など十分な知見がまだ得られておりません。解明されていない部分が多いことから、国・県を通じてそういった情報収集にも努めてまいりたい

と思っております。

議長 森脇議員。

森脇議員 はい、今後、飲料水や河川の水質検査の予定は、あるのでしょうか、お尋ねいたします。

議長 山下都市建設課長。

山下都市建設課長 はい、飲料水ですね、まあ浄水場でする飲料水の検査については予定がございます。先程から、おっしゃられているように有機フッ素化合物である、PFAS、この内代表的な有機フッ素化合物である、先程住民課からもありましたが、PFOS及び、PFOAにつきまして水質管理目標設定項目に定められております暫定目標値、先程、議員からもありましたが、1リットル当たり50ナノグラム以下というのが設定されておるところでございます。

水質検査、こちらにつきまして、和木町が管理いたします簡易水道のすべての浄水場の給水箇所において、令和7年度におこなうこととしております。

また和木地区につきましてですが、岩国市水道局から給水を受けておるのですが、今年度に、原水及び水道水について検査をおこない、目標値を超えて検出されたことがない旨が、公表されております。

議長 森脇議員。

森脇議員 はい、今水質検査は和木町が管理する簡易水道の全ての浄水場の給水箇所については、令和7年度に行われるってということで理解しまして、和木地区については、今年度に原水及び水道水について検査が行われ、目標値を超えて検出されることはない、との公表ということで理解いたしました。

先程、ちょっと1つだけ教育委員会のあれで質問を逃して

しまったので大切な事なので聞いておこうと思います。

学校給食センターに係る管轄は教育委員会ですが、実際の整備計画は都市建設課もかかわっていると思います。両担当課が互いにどのように計画を進めておられるのでしょうか。又、検討会議の開催が、会議が開催されていれば、状況をお伺いいたします。

議長 前の質問に戻りますけどいいですか。
はい、松井局長。

松井教育委員会事務局長 はい、お答えいたします。
学校給食センター建設に係る管轄は、教育委員会でございます。実際の整備計画に関しましては、都市建設課の他、企画総務課、前担当職員、給食センターの栄養士に加え、今回受託業者であるコンサルタントの担当で、定期的に会議を行ってまいりました。昨年、8月21日にこのコンサル会社と契約して以降は、合計8回の検討会議を行っております。

また、12月には、町長、副町長、教育長を交えた説明会を開催し、今後の計画に対する方針、それから調査方法、そういったことの調整を行ってきておるところです。

引き続き、各部署間で連携を取りながら、この計画が円滑に進むよう努めてまいりたいというふうに考えております。

議長 いいですか。

森脇議員 はい。

議長 森脇議員。

森脇議員 はい、今、答弁いただきましたように、今後も各部署間で連携をとりながら計画を円滑に進めていただきたいと思います。

そして、PFASの問題はこれから色々と、まだもっと取り

上げられると思いますが、今後も注視してまいりたいと思います。

以上で、一般質問を終わります。

議 長 再質問がないようですので、以上で森脇明美議員の一般質問を終わります。

議 長 以上で、本日の日程は全て終了いたしました。

議 長 本日はこれで散会したいと思います。ご異議ありませんか。

(「なし」の声あり)

議 長 異議なしと認めます。

議 長 本日はこれで散会いたします。
みなさまお疲れさまでした。

閉 会 12時 13分